



GORIPPA STUDIO

いまイメージできる「ストーリー」と「プロット」【発見から発注まで】

ストーリー（顧客の行動を想像してみる）	プロット（あなたが仕掛けておくこと）
顧客の『前回のナレーターには実はここが不満があった』があるとしたら？	事前に仕込んでおけるフラグ
顧客に『こういうナレーターがいたらいいなあ』があるとしたら？	事前に仕込んでおけるフラグ
顧客自身にも自覚のない願望の想定（例：『流行遅れだと思われたくない』など）	事前に仕込んでおけるフラグ

1	顧客がナレーターを探し始めるイメージ	
2	あなたを発見するイメージ (例：どこで/どんなふう)	
3	顧客が他とあなたを比べて迷う（例：どこで迷う？）	
4	「それでもあなたを選んでくれるとしたら」 なぜかのイメージ	
5	なんらかの方法であなたに連絡してくるイメージ	

実際に現場で仕事するあなた！